



れた。ざくろも、なつめ椰子も、りんごも、野のすべての木々は枯れた。喜びが人の子から消え去った。」

1:1 ペトエルの子ヨエルにあった【主】のことは。

1:2 「長老たちよ、これを聞け。この地に住む者もみな、耳を傾けよ。このようなことが、あなたがたの時代に、また先祖の時代にあっただろうか。

1:3 これをあなたがたの子どもたちに伝え、子どもたちはその子どもたちに、その子どもたちは後の世代に伝えよ。

1:4 噛み砕いた物が残した物は、いなごが食い、いなごが残した物は、バツタが食い、バツタが残した物は、その若虫が食った。

1:5 目を覚ませ、酔いどれよ。泣け。泣き叫べ、すべてがぶどう酒を飲む者よ。甘いぶどう酒があるあなたがたの口から断られたからだ。

1:6 ある国民がわたしの国に攻め上って来た。それは力強く、数えきれない。その歯は雄獅子の歯、それには雌獅子の歯がある。

1:7 それはわたしのぶどうの木を荒れすたらせ、わたしのいちじくの木を木っ端にした。これを丸裸に引きむき、投げ倒し、その枝々を真っ白にした。

1:8 悼み悲しめ。粗布をまとったおとめが、その若いときの夫のためにするようにな。

1:9 穀物と注ぎのささげ物は【主】の宮から断たれ、【主】に仕える祭司たちは喪に服す。1:10 畑は荒らされ、地も喪に服す。穀物が荒らされ、新しいぶどう酒も干上がり、油も涸れるからだ。

1:11 恥を見よ、農夫たち。泣き叫べ、ぶどう作りたち。小麦と大麦のために。畑の刈り入れがなくなっただからだ。

1:12 ぶどうの木は枯れ、いちじくの木はしお

ヨエル書は神のさばきが主題です。イスラエルの不信仰を告発し、そのイスラエルを攻撃する他の国々をも告発します。しかしその中の後の救いが述べられます。

ここではイスラエルの不信仰のゆえに、様々な苦難を受けなければならぬ状況を預言しています。それは何よりも、自分たちの罪に気づくためです。

主は救い主で、愛のお方ですが、一方義なるお方であるというところは揺るぎないことです。私たちが主に甘えるような信頼を持つと共に、十字架によって赦され続ける存在であることも忘れてはなりません。私たちが相変わらず罪のあるものなのです。罪をいいかげんにせずに、いつも悔い改めつつ、きよめていただきますよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたなどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

